

2022 年度 第 3 回理事会議事録

1. 開催日時：2022 年 11 月 12 日（土）19：00～20：00

2. 開催場所：四国がんセンター +（Zoom ミーティング併催）

3. 出席者

理事：青木 究 岡田 未奈 小野 達也 清水 俊行 高瀬 和則 成高 有哉 久枝 正実 野村 祐介 宮崎 昌彦 山本 良輔

監事：田邊 芳郎 宇都宮 卓治

欠席者：喜井 澄香 山田 文哉

4. 議事

1) 開会の挨拶

宮崎会長より理事会開催の挨拶があった。

2) 書記の選出

宮崎会長より野村事務局長が書記に選出された。

3) 各委員会報告

【今年度のセミナー開催日】

- ・ 血液浄化 … 12 月 4 日(日) 若手スタッフ向けの基礎セミナー (WEB)
2 月 5 日(日) 穿刺に関するセミナー (対面形式)
- ・ 循環器 … 2 月 19 日(日) 心電図セミナー (WEB)
- ・ 呼吸器 … 11 月 20 日(日) 呼吸療法セミナー (WEB)
- ・ 機器管理 … 1 月 28 日(土) 機器管理セミナー (WEB)
- ・ 学会準備 … 12 月 11 日(日) 第 8 回愛媛県臨床工学会 (WEB)

広報…11 月 1 日に HP のサーバー移転、SLL 化を実施した。

組織…10 月 27 日(木)に開催された啓発セミナー(WEB)には 40 名程の参加があった。

校閲部…趣意書の雛形を作成中である。

宮崎会長より今年開催された中四国臨床工学会岡山大会が対面開催であったように、他の学会においても徐々に対面開催に戻りつつある。このような状況を鑑みて次年度から当会の学会やセミナーの開催形式については基本的に従来の対面形式で開催するよう意見が述べられた。反対意見もなく満場一致で承認された。

4) 第 7（2023、2024 年度）期一般社団法人愛媛県臨床工学技士会役員選挙について

土居洋子選挙管理委員長より、第 7 期（一社）愛媛県臨床工学技士会役員選挙の日程について説明があった。（資料 1）

5) 日本臨床工学技士連盟年会紙『みらい』講読について

連盟より会誌『みらい』講読制度への移行にあたり、県単位での取りまとめの協力依頼があった。県技士会としてどのように対応するか協議した。（資料 2）協議では日本臨床工学技士連盟がなければ今回の告示研修の土俵に臨床工学技士が立つことすらなかった。連盟に活動していただかないと我々臨床工学技士の未来はないなど連盟の重要性について発言があった。協議の結果、今回の日本臨床工学技士連盟の取り組みについて全面的に協力することで満場一致で承認された。後日、会誌『みらい』講読制度のお願い文書を会員に向けて郵送する。

6) 中四国臨床工学技士会連絡協議会についての報告

10 月 28 日（金）に WEB 開催され、連絡協議会および組織委員会、学術委員会、若手委員会、事務局会について各担当者から報告があった。（資料 2）

7) その他

(1) 日臨工業務実態調査の回収率報告

先週までの報告では 84%である。

(2) 四国医療技術専門学校特別講演の依頼について

宮崎会長が 12 月に講演予定

(3) 2023 年度の活動と予算について

宮崎会長より次年度は対面でのセミナー開催、委員会開催をベースに各委員会で必要予算を検討するよう指示があった。

8) 事務局報告

新入会員 11 名、異動 2 名、退会 1 名の報告があり満場一致で承認された。

5. 第 4 回理事会の日程調整

2023 年 3 月頃を予定する

6. 議事録確認

出席理事

宮崎昌彦  清水俊行  野村祐介  青木究  岡田未奈  小野達也 

高瀬和則  成高有哉  久枝正実  山本良輔 

出席監事

田邊芳郎  宇都宮卓治 

7. 閉会挨拶

清水副会長より閉会の挨拶があった。

2022年12月7日

正会員各位

一般社団法人愛媛県臨床工学技士会選挙管理委員会
委員長 土居 洋子



告 示

一般社団法人愛媛県臨床工学技士会役員選出規程第2章第5条第1項により第7期愛媛県臨床工学技士会理事・監事選挙を告示します。

記

- | | |
|-------|--|
| 選 任 | 理事 7名以上12名以内
監事 2名以内 |
| 任 期 | 選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時社員総会の終結のときまで。 |
| 立候補受付 | 2022年12月7日から2022年12月23日（必着）
役員選出規程第3章第7、8条により選挙管理委員会事務局に別紙を以て立候補、推薦を届け出る。 |
| 公 示 | 役員選出規程第2章第5条第2項より資格審査終了後、2023年1月4日に会員へ文書を以て通知する。 |
| 選 挙 | 2023年2月24日
通知された立候補者について無記名にてはがき投票とする。 |
| 追 記 | 役員選出規程第4章第13条により候補者が定数に満たないときは、公示は行わず理事会にて候補者を推薦し、役員選出規程第4章第12条により無投票当選となり選挙結果は、別に会員に通知する。 |

以上

問い合わせ先

〒798-0053 愛媛県宇和島市賀古町 2-1-37
特立行政法人地域医療推進機構 宇和島病院
一般社団法人愛媛県臨床工学技士会選挙管理委員会事務局
委員長 土居 洋子
TEL 0895-22-5616

一般社団法人
愛媛県臨床工学技士会理事・監事立候補申請書

第 7 期 愛媛県臨床工学技士会役員選挙

選挙の種別	理事 ・ 監事 (いずれかに○印)		(立候補・推薦)
フリガナ			会員番号
候補者氏名	印		
生年月日	S・H 年 月 日生 (当満 歳)		
候補者現住所	〒 TEL		
現勤務施設名			
同上現在地	〒 TEL		
立候補理由			
推薦者記入項目			
フリガナ			会員番号
推薦者氏名	印		
推薦者現住所	〒 TEL		
推薦者勤務施設名			
同上現在地	〒 TEL		
推薦理由			

令和4年度第2回中四国臨床工学技士会連絡協議会 議事要旨

日 時：2022年10月28日（金） 19:30～21:10

場 所：Web 会議（zoom ミーティング）

出席者：別添の参加者リスト参照

配布資料

- （資料1）令和4年度第1回中四国臨床工学技士会連絡協議会議事要旨
- （資料2）令和4年度第2回中四国臨床工学技士会連絡協議会名簿
- （資料3）組織委員会議事録
- （資料4）学術委員会議事録
- （資料5）若手委員会議事録
- （資料6）事務局会議事録
- （資料7）日本臨床工学会 活動報告
- （資料8）連盟広報誌購読拡大のお願い
- （資料9）学会ポスター

議案

1. 学会開催報告
2. 協議・報告事項
3. （公社）日本臨床工学技士会理事会報告
4. 日本臨床工学技士連盟報告
5. 第33回日本臨床工学会（広島開催）
6. その他
7. 次回協議会予定

・通信環境確認

会議に先立ち、出席者の音声・映像が即時に全ての出席者に伝わり適宜意思表示が適切に伝わる Web 会議環境であることを確認した。

・議事録署名人、書記

議長にて開催県より、議事録署名人として堀 純也 氏、書記として藤原千尋 氏を推薦、承認された。

1. 学会開催報告

・第12回中四国臨床工学会（岡山県 小野会長）

開催日：2022年10月1日（土）、2日（日）

2022年10月12日（水）～11月10日（木）（オンデマンド配信）

場 所：岡山コンベンションセンター

開催方法：対面

テーマ：紡ぐ～人と技をつなぎ未来を創造する～

Web site： <https://www.cscel2.com>

1) 経過報告

10月1日、2日

現地参加 705名（会員 424名、非会員 127名、学生 154名）

招待 3名（徳島県 大西芳明さま、山口県 小野哲晴さま、岡山県 田中昭彦さま）

企業・映像スタッフ 247名

10月24日時点

オンデマンド配信登録（会員 143名、非会員 25名、学生 5名）

呼吸療法セミナー登録 167 名
収支報告については、次会で報告

第12回中四国臨床工学会開催にあたって、過去の大会の情報を収集するのに苦労したため、今後は学会開催時の各データを共有していく体制を構築する。

- ・第13回中四国臨床工学会（鳥取県 藤原会長）（資料9）
開催日：2023年10月28日（土）、29日（日）
場 所：米子コンベンションセンター BiG SHiP
テーマ：臨床工学のSDGs～わたしたちができること～

2. 協議・報告事項

- 1) 中四国臨床工学会を各都道府県で盛り上げる方法について（岡山県 小野会長）
第12回中四国臨床工学会
・コロナ禍であったため、企業協賛関係、一般演題の募集に難渋
・各施設倫理委員会の影響
令和5年度第1回中四国臨床工学技士連絡協議会で議論
- 2) 令和5年度第1回中四国臨床工学技士連絡協議会の開催（鳥取県 藤原会長）
令和5年度第1回中四国臨床工学技士連絡協議会について、対面会議として岡山県にて開催をしたいとの申し出があった
岡山国際交流センター（令和5年4月29日予定）
- 3) 業務実態調査に関する各県の取り組みならびに情報共有
組織強化委員会（島根県 福田会長）より、全国水準より高い回収率
（岡山県 小野会長）ブロック化し、回収を促している
（山口県 富貞会長）組織委員を中心に電話で依頼
（香川県 光家会長）理事施設を中心に入力し、拡散
（広島県 高橋会長）動画配信に加え、電話で回収を促している
（愛媛県 宮崎会長）e-プリバド改修に合わせ配布されたハガキを用い、ログインを事前に促していた。施設に合わせた担当者の配布
（香川県 白川氏）業務実態調査を入力した際に、回答した旨のメールを配布することは可能か
（肥田理事）実態調査回答状況のデータをもっている。提供することは可能
- 4) 災害時情報コーディネーターの活動報告および提案（報告者：小川様）
小川晋平（四国ブロックコーディネーター）
今田寛人（中国ブロックコーディネーター）
【補足】
災害時情報のネットワークの構築については日臨工の活動にも関わってきますので、野村副理事長に経緯のご相談をしている
全国に比べ、都道府県のコーディネーター人数が数人程度と少ない。
- 5) 委員会報告
各委員会議事録に従い報告

- ・組織委員会（資料3）
 - ・学術委員会（資料4）
 - ・若手委員会（資料5）
 - ・事務局会（資料6）
3. （公社）日本臨床工学技士会理事会報告（資料7）（報告者：日臨工 肥田理事）
- ・生涯教育関連（入会オリエンテーション、臨床工学技士の基礎研修会）コンテンツの準備（50本）
 - ・実習指導者講習会、告示研修修了者を優先にと以前話題があったが、実習受入施設各1名を優先に修正された（2,000名必要）
 - ・第35回日本臨床工学会開催地、大阪府に決定（但し、万博期間中）
4. 日本臨床工学技士連盟報告（資料8）（報告者：連盟 肥田理事長）
- ・連名広報誌「みらい」の購読のお願い
 - ・1割の善意で支える現状を改善したい
5. 第33回日本臨床工学会（広島県 高橋会長）（資料9）
- 会 期 2023年7月21日（金）～23日（日）
- 会 場 広島国際会議場
- テーマ PeaCE for innovation ～ peace: 無事 安心への新たな展望 ～
- 演題募集 2022年10月3日（月）正午～2022年11月30日（水）正午
対面）BPA、デジタルポスター、Web）オンデマンド配信
6. その他
- 議論なし
7. 次回協議会予定
- 日 時：2023年4月
- 場 所：岡山市内にて対面会議を予定

以上をもって、会議を終了とする

2022年4月30日

議 長 小野淳一

議事録署名人 堀 純也

書 記 藤原千尋

(別添) 参加者リスト

【出席者】

(島根県) 福田勇司, 藤松祐輔, 福島成文, 宅江呂剛

(鳥取県) 藤原 弘昌, 前根晃彦, 萩原隆之, 金崎俊介, 雑賀真也

(香川県) 光家 努, 白川憲之

(岡山県) 小野淳一, 西江和夫, 堀 純也, 佐々木 新, 藤原千尋

(愛媛県) 宮崎昌彦, 清水俊行, 山田文哉, 小野達也, 野村祐介

(広島県) 高橋秀暢, 羽原詠治, 兼長貴祐

(徳島県) 山下 翔, 割石大介

(山口県) 富貞公貴, 和久益寛, 安本圭亮, 鈴木雄揮, 大野晶範

(高知県) 武島智隆, 仙頭正人, 安岡良訓, 斧 武志, 小川晋平

(日臨工) 監事 高山 享

(連 盟) 理事長 肥田泰幸

オブザーバ

(島根県) 日野厚志, 三島千秋

(鳥取県) 福安賢吾

【欠席者】

(香川県) 東山智香子, 山本晃市, 松本恵子, 村上成重

(広島県) 栗原大典

(徳島県) 近田優介, 福原正史, 川久保芳文

(高知県) 村上 武

(日臨工) 副理事 野村知由樹, 専務理事 青木郁香

令和4年度（2022年）中四国臨床工学技士会連絡協議会名簿

所属	代議員	役職	新	氏名	勤務先	eMail
島根県	地区	会長		福田 勇司	松江赤十字病院	shimarinkou@gmail.com
島根県		事務局長		宅江 呂剛	益田赤十字病院	masurinkou@gmail.com
島根県		組織委員		福田 勇司	松江赤十字病院	shimarinkou@gmail.com
島根県		学術委員		藤松 祐輔	安来市立病院	yuhounosukake@yahoo.co.jp
島根県		若手委員		福島 成文	島根県立中央病院	narufumi29@yahoo.co.jp
島根県		学術委員/OBS	○	三島 千秋	島根県立中央病院	chiaki.mishima.spch@gmail.com
島根県		若手委員/OBS	○	日野 厚志	松江赤十字病院	atshn114332@gmail.com
鳥取県	地区	会長	○	藤原 弘昌	鳥取市立病院	hiromasa.fujiwara@hospital.tottori.tottori.jp
鳥取県		事務局長		雑賀 真也	鳥取大学医学部附属病院	mec.saiga@gmail.com
鳥取県		組織委員		前根 晃彦	谷口病院	a-maene@seiseikai.jp
鳥取県		学術委員	○	秋原 隆之	鳥取赤十字病院	t-hagi@tottori-rc.com
鳥取県		若手委員		金崎 俊介	のぐち内科クリニック	kanasaki0509@gmail.com
香川県		会長		光家 努	香川大学医学部附属病院	mitsuie.tsutomu@kagawa-u.ac.jp
香川県	地区	事務局長		山本 晃市	KKR高松病院	kokomorimori666@yahoo.co.jp
香川県	地区	組織委員		白川 憲之	四国こどもととなの医療センター	shirakawa3031@gmail.com
香川県		学術委員		東山 智香子	香川大学医学部附属病院	higashiyama.chikako@kagawa-u.ac.jp
香川県		若手委員		石川 朋宏	香川県立中央病院	levorg0168@yahoo.co.jp
香川県	ブロック	副会長		松本 恵子	三豊総合病院	k-matsumoto@mitoyo-hosp.jp
岡山県	地区	会長		小野 淳一	川崎医療福祉大学	jun@med.kawasaki-m.ac.jp
岡山県	地区	事務局長		藤原 千尋	岡山大学病院	orca.mac@gmail.com
岡山県		組織委員		西江 和夫	川崎医科大学附属病院	k.nishie@hp.kawasaki-m.ac.jp
岡山県	地区	学術委員		堀 純也	岡山理科大学	junya-hori@nifty.com
岡山県		若手委員		佐々木 新	岡山済生会総合病院	ssk.shin123@gmail.com
日臨工	ブロック	専務理事		青木 郁香	日本臨床工学技士会	fumika.a@mac.com
日臨工	ブロック	監事		高山 享	岡山旭東病院	takayama@kyokuto.or.jp
愛媛県		会長		宮崎 昌彦	住友別子病院	mx2.1976@me.com
愛媛県	地区	事務局長		野村 祐介	三島外科胃腸クリニック	punk.rock.nom@gmail.com
愛媛県	地区	組織委員		清水 俊行	四国がんセンター	shimizu.toshiyuki.vs@mail.hosp.go.jp
愛媛県		学術委員		山田 文哉	愛媛大学医学部附属病院	yamadabu@m.ehime-u.ac.jp
愛媛県		若手委員		小野 達也	住友別子病院	onotatsuy@gmail.com
広島県	地区	会長		高橋 秀暢	広島国際大学	h-taka@hiroku-u.ac.jp
広島県	地区	事務局長		兼長 貴祐	尾道クリニック	onomichi.t.kanenaga@gmail.com
広島県		組織委員		高橋 秀暢	広島国際大学	h-taka@hiroku-u.ac.jp
広島県	ブロック	学術委員		栗原 大典	広島市民病院	orehakurihara0923@yahoo.co.jp
広島県		若手委員	●	羽原 詠治	中国労災病院	e.havara@chugokuh.johas.go.jp
徳島県	ブロック	会長	○	近田 優介	徳島大学病院	chikata@tokushima-u.ac.jp
徳島県		事務局長	○	割石 大介	つるぎ町立半田病院	rmtmbim222@yahoo.co.jp
徳島県		組織委員		福原 正史	公立学校共済組合 四国中央病院	m-fukuhara@ctm.ne.jp
徳島県		学術委員		川久保芳文	学校法人 大阪滋慶学園	y.kawakubo.710@gmail.com
徳島県		若手委員		山下 翔	社会医療法人川島会 川島病院	s.yamashita@khg.or.jp
山口県		会長		富貞 公貴	山口大学医学部附属病院	tomisada@yamaguchi-u.ac.jp
山口県		事務局長	○	大野 晶範	山口大学医学部附属病院	ohno@yamaguchi-u.ac.jp
山口県		組織委員		和久 益寛	独立行政法人地域医療機能推進機構徳山中央病院	masu.waku@gmail.com
山口県		学術委員		安本 圭亮	山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院	k25440203@yahoo.co.jp
山口県		若手委員		鈴木 雄輝	下関市立市民病院	yuki091717@gmail.com
日臨工	地区	副理事長		野村 知由樹	(医)医誠会 都志見病院	nomura0325@gmail.com
高知県	地区	会長		武島 智隆	高知大学医学部付属病院	jm-tomotaka@kochi-u.ac.jp;
高知県		事務局長		斧 武志	島津病院	info@kochi-ce.com
高知県		組織委員		村上 武	高知大学医学部付属病院	jm-tmurakami@kochi-u.ac.jp
高知県		学術委員		仙頭 正人	高知高須病院	mast1k10@takasuhp.or.jp
高知県		若手委員		安岡 良訓	島津クリニック	S-clinic@vega.ocn.ne.jp
高知県	ブロック	代議員		小川 晋平	高知高須病院	pei@takasuhp.or.jp
連盟	ブロック	理事長		肥田 泰幸	日本臨床工学技士連盟	yasu.hida@gmail.com

令和4年度（2022年度）第2回 中四国臨床工学技士会連絡協議会 組織委員会 議事録

日時：令和4年9月21日（水）19：00～20：20

場所：Zoom web 会議

<出席者>

前根 晃彦（鳥取県組織委員）、福田 勇司（島根県組織委員）、高橋 秀暢（広島県組織委員）

和久 益寛（山口県組織委員）、白川 憲之（香川県組織委員）、近田優介（徳島県組織委員）

村上 武（高知県組織委員）、清水 俊行（愛媛県組織委員）、西江 和夫（岡山県組織委員）

オブザーバー：野村 知由樹（日臨工副理事長）、高山 享（日臨工監事）

松本 恵子（日臨工組織強化職能委員会 女性活躍実現 WG）

藤原 弘昌（鳥取県会長）、富貞 公貴（山口県会長）、光家 努（香川県会長）

宮崎 昌彦（愛媛県会長）

司会：福田 勇司 書記：西江 和夫

<添付資料>

資料1 業務実態調査結果（過去4年分）

資料2 プリバドについて

資料3 告示研修受講状況 20220829

資料4 第1回女性活躍 WG 議事録（中四国ブロック）

資料5 女性活躍 WG 調査結果

<議案>

#1 業務実態調査の取り組みについて（資料1）

1) 各県での現状と今後の対応について

- ・ 今年度は、プリバドの更新があったので改めてログイン登録が必要となる。また、初回パスワードがランダムになっているのでログインに対するハードルが高くなることが予想される。
- ・ アンケート回収についての対応は各県とも例年通りメール、ML、電話で担当者が行う。
- ・ 新パスワード対応はこれから対応する。
- ・ 日臨工の取り組みとして今年度は各県担当者に対して説明会を実施する予定。各都道府県の回収率と、各県の会員構成別の事例を話してもらってもらう。会員別にメール配信も検討している。
- ・ ハガキをなくした方は、プリバドHPで対応しているので問い合わせしてほしい。

2) 連絡協議会全体として取り組みについて

アンケート回収期間中のデータ（回収率とプリバド未登録数）を参考に対応する。

プリバドのデータに関しては肥田理事に後日確認。

各県ログイン対応は早めに声掛けの対応をお願いします。

#2. 告示研修について（資料3）

1) 各県での取り組みについて

2022 年度後半は広島、愛媛、香川で開催予定。

鳥取県：コロナ対応もあったが（コロナ陽性者が予想より増えた）、今後啓発進めていきたい。

高知県：各施設で理解にバラツキがある。高知自県開催は難しいようなので、近場での開催を啓発していく。

徳島県：各技士長に技士会から動画啓発でアプローチし、少しずつ参加者が増えている。

愛媛県：自県開催（10/8.9）⇒メールで周知、参加者集めには苦労はなかった。

香川県：高松開催であれば、あと2回開催の参加人数は見込める。地方開催であれば近県開催例えば、高知県在住者も高松市であれば日帰りで行けそう。

2023 年度の開催日程は、まだ白紙ですが 早めの日程を知りたい。

日臨工高山監事：告示研修は通過点で、告示研修後の臨床でのタスクシフトに対する検証は臨床検査技師会、診療放射線技師会は積極的に取り組んでいる（特に検査技師会）臨床工学技士会は今後対策をしないと立ち遅れが心配である。

- ・ 地方開催のネックは⇒会場費用、実習機器の運送費用、機器会場搬送経路、会場電源容量。⇒EBM（委託業者）の会場調査が必要。1 会場受講者 80 人/回が最低ラインとなる。
- ・ タスクシフト先行施設（済生会熊本病院）に研究班が見学し検証が始まっている。
- ・ タスクシフトのスパンが6、7年と言われており臨床工学技士会は1万人申し込み済みで順調。

2) 今後の対策について

- ・ 各県での状況を情報共有
- ・ 各県地方会場の推薦があれば申し出てください。

#3. 連盟活動の組織化

1) 各県での取り組みについて

- ・ 参議院選挙政治活動期間の名簿集めについて

⇒愛媛県：名簿集めは、一人で数多く集められそうな人を中心に依頼した。

年配者は選挙に対する経験があり趣旨を伝えやすかった。

2) 今後の対策について

各県連盟窓口対応者の会議を開催し啓発につなげていく（会議日程調整担当岡山県西江）

#4. 女性活躍 WG の報告について（資料4、5）

1) 現状報告

- ・ 7月末に中四国の女性技士代表者で会議を実施し、各県での状況について共有をした。
徳島県：女性会員限定アンケートし、施設にフィードバックした。女性理事候補の声掛け、会議時間の問題など。
広島県：女性理事は1名、両立は難しいようだ。男女ともに依頼が多い
- ・ 男性家庭生活の参画の重要性が議論された。
- ・ 各県の会員に男女比と委員会と理事の比率を同じにするのが目標となる。
- ・ WEB の特徴を生かした状況や、参加しやすい環境作り、会議時間の工夫を模索している。

2) 今後の活動について

- ・ 各県委員会などで、女性のオブザーバを入れる活動もありではないか？
- ・ なぜ女性活躍？⇒現在人口比に比し女性の目線が少ないので、女性を活躍導入したい

#5. その他

- ・ 第12回中四国臨床工学会への参加をお待ちしております（担当県 岡山）

以上

業務実態調査結果推移（過去4年間）

	2018年	2019年	2020年	2021年	前年度比
鳥取県	64.4%	85.7%	89%	92.9%	3.9%
岡山県	31.4%	69.9%	75%	72.3%	-2.7%
広島県	57.7%	61.7%	56%	57.3%	1.3%
山口県	49.8%	66.7%	68%	74.8%	6.8%
徳島県	31.6%	67.7%	71%	60.7%	10.3%
香川県	33.3%	81.5%	66%	66.1%	0.1%
高知県	13.7%	62.9%	63%	52.5%	10.5%
愛媛県	33.1%	81.6%	82%	70.8%	-11.2%
島根県	70.1%	87.7%	90%	95.6%	5.6%
全国平均		40%	39%	38%	

プリバド未登録人数

	愛媛県	岡山県	広島県	香川県	高知県	山口県	鳥取県	島根県	徳島県
会員数	325	557	662	289	189	226	145	158	181
未登録数	142	296	326	139	121	117	63	85	113
	49%	56%	52%	51%	69%	55%	46%	55%	75%

「臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修」
2022年7月31日時点の受講状況について ※「5. 受講状況の推移」について更新

1. 受講者数

総数 9,689 人 ※うち修了は 4,825 人 (2022 年度末目標の 48.3%)

○ 勤務先の別

- ・医療機関 9,477 人 (97.8%)
- ・その他 212 人 (2.2%)

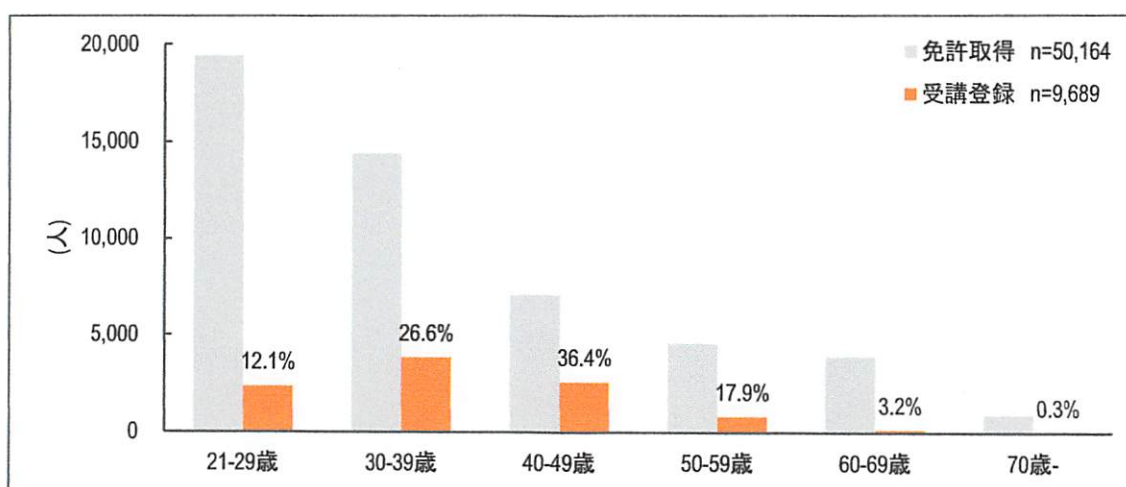
○ 会員／非会員の別

- ・会員 8,278 人 (85.4%)
- ・非会員 1,411 人 (14.6%)

2. 年代別の受講状況

年代	受講登録 (人)		同年代における受講の進捗状況			
			全過程修了 (人)		基礎のみ終了 (人)	
21-29 歳	2,342	24.2%	982 / 2,342	41.9%	655 / 2,342	28.0%
30-39 歳	3,826	39.5%	1,833 / 3,826	47.9%	1,079 / 3,826	28.2%
40-49 歳	2,573	26.6%	1,424 / 2,573	55.3%	641 / 2,573	24.9%
50-59 歳	819	8.5%	497 / 819	60.7%	161 / 819	19.7%
60-69 歳	126	1.3%	86 / 126	68.3%	20 / 126	15.9%
70 歳-	3	0.0%	3 / 3	100.0%	0 / 3	0.0%

○ 年齢別 免許取得者数に対する受講者数



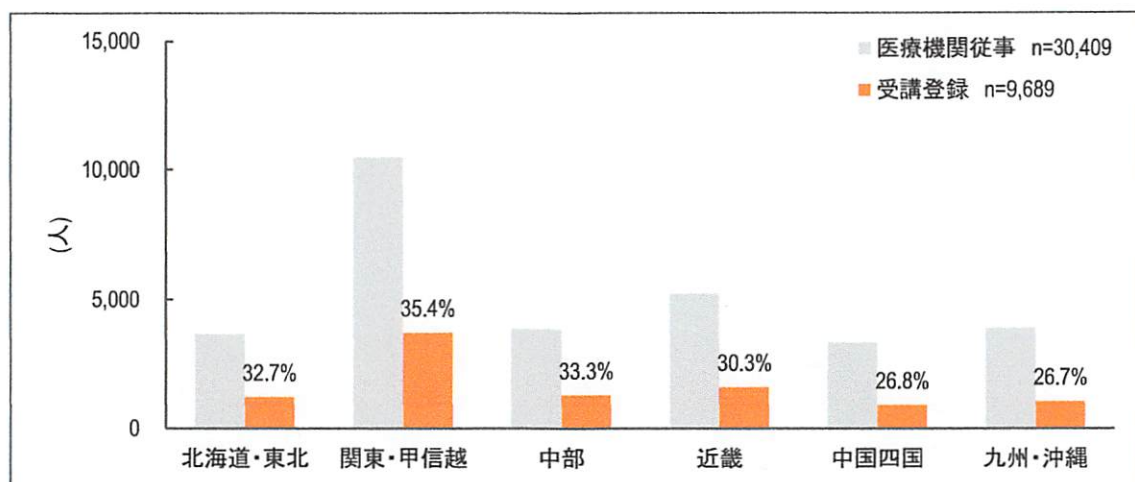
*1 免許取得者の年齢分布は厚生労働省による国家試験合格発表および当会データ他から推計した

*2 パーセントは当該年代において免許を取得している者に対する受講登録者の割合

3. ブロック別の受講状況 ※都道府県別の受講状況 →別紙

ブロック	受講登録		同年代における受講の進捗状況			
			全過程修了 (人)		基礎のみ終了 (人)	
北海道・東北	1,194	12.3%	492 / 1,194	41.2%	492 / 1,194	41.2%
関東・甲信越	3,703	38.2%	2057 / 3,703	55.5%	598 / 3,703	16.1%
中部	1,280	13.2%	649 / 1,280	50.7%	361 / 1,280	28.2%
近畿	1,580	16.3%	815 / 1,580	51.6%	416 / 1,580	26.3%
中国四国	888	9.2%	366 / 888	41.2%	320 / 888	36.0%
九州・沖縄	1,044	10.8%	446 / 1,044	42.7%	369 / 1,044	35.3%

○ ブロック別 医療機関従事者数に対する受講者数

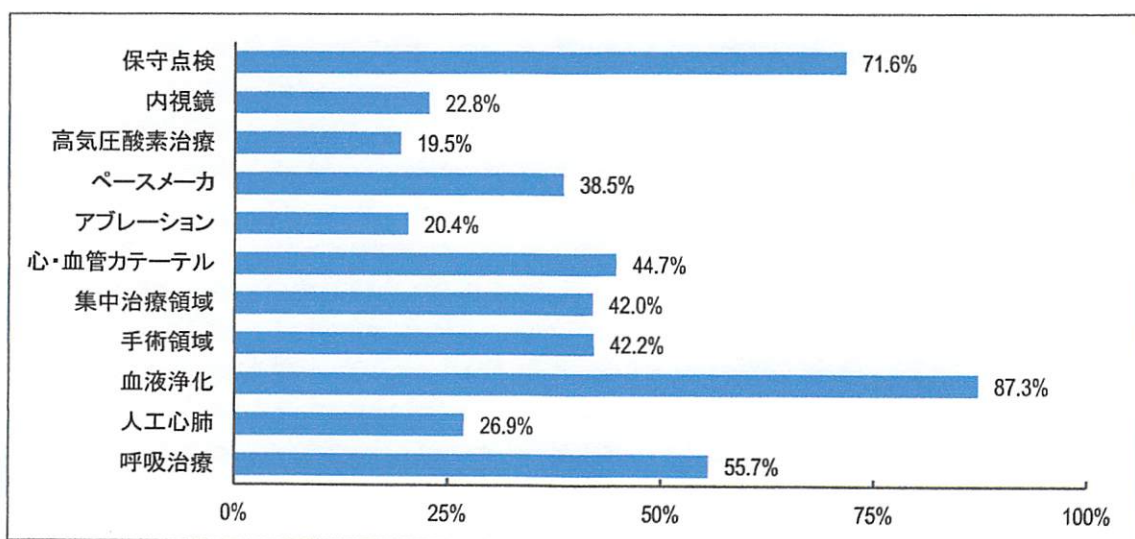


*1 医療機関従事者のブロック分布は平成 29 年医療施設（静態・動態）調査を用いた

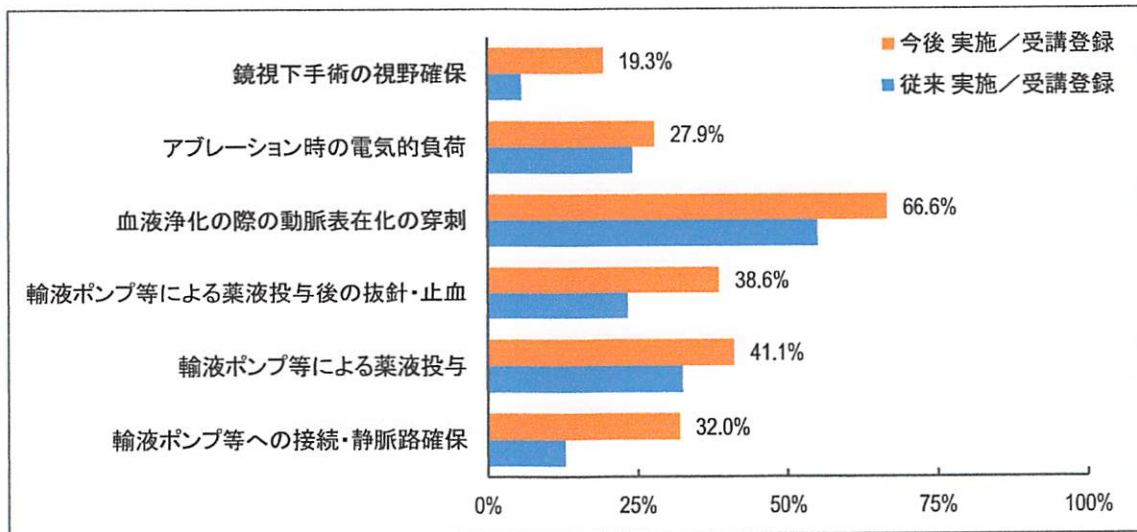
*2 パーセントは当該ブロックにおいて医療機関に従事している者に対する受講登録者の割合

4. 受講者の業務内容

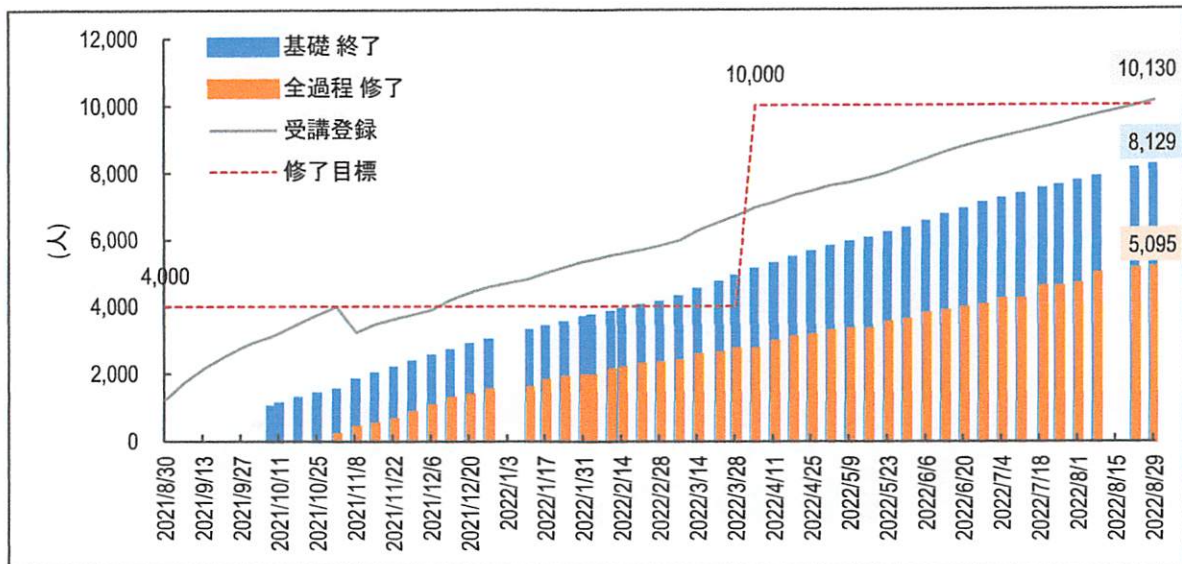
○ 受講登録時および過去の業務 n=9,689

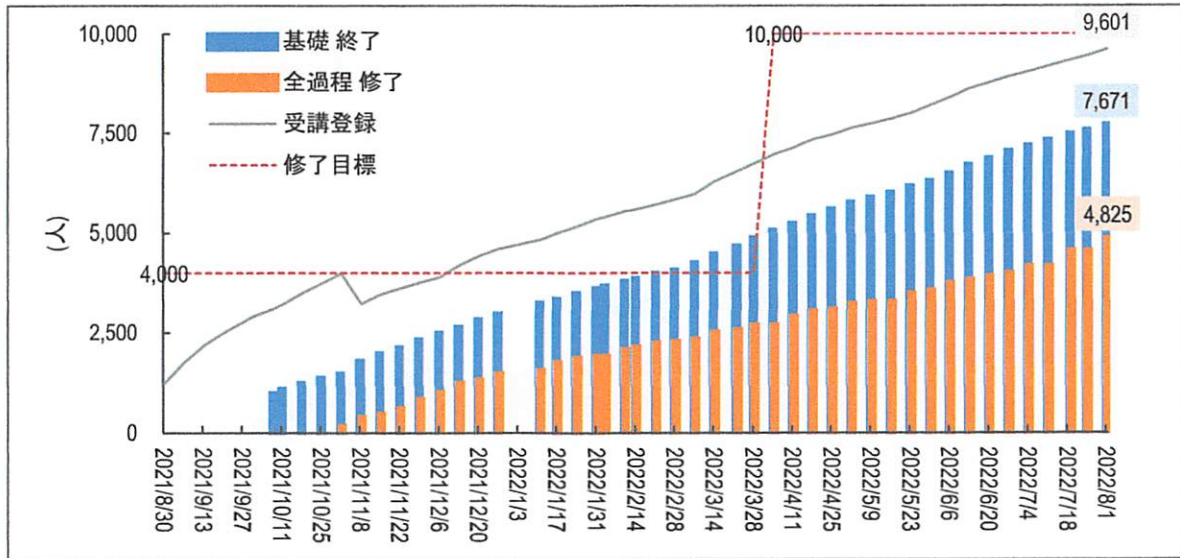


○ 法令改正による診療補助行為の実施状況 n=9,689



5. 受講状況の推移 *2022年8月29日時点(暫定)





以上

都道府県別の受講状況

ブロック	都道府県	受講登録（人）		同都道府県における受講の進捗状況			
				全過程修了（人）		基礎のみ終了（人）	
北海道・東北	北海道	571	5.9%	179 / 571	31.3%	307 / 571	53.8%
	青森県	81	0.8%	27 / 81	33.3%	31 / 81	38.3%
	岩手県	66	0.7%	10 / 66	15.2%	42 / 66	63.6%
	宮城県	232	2.4%	168 / 232	72.4%	35 / 232	15.1%
	秋田県	55	0.6%	16 / 55	29.1%	27 / 55	49.1%
	山形県	86	0.9%	48 / 86	55.8%	27 / 86	31.4%
	福島県	103	1.1%	44 / 103	42.7%	23 / 103	22.3%
関東・甲信越	茨城県	168	1.7%	71 / 168	42.3%	32 / 168	19.0%
	栃木県	116	1.2%	35 / 116	30.2%	31 / 116	26.7%
	群馬県	119	1.2%	55 / 119	46.2%	12 / 119	10.1%
	埼玉県	621	6.4%	300 / 621	48.3%	115 / 621	18.5%
	千葉県	685	7.1%	410 / 685	59.9%	103 / 685	15.0%
	東京都	972	10.0%	620 / 972	63.8%	116 / 972	11.9%
	神奈川県	762	7.9%	494 / 762	64.8%	102 / 762	13.4%
	山梨県	57	0.6%	26 / 57	45.6%	19 / 57	33.3%
	長野県	131	1.4%	32 / 131	24.4%	42 / 131	32.1%
	新潟県	72	0.7%	14 / 72	19.4%	26 / 72	36.1%
中部	静岡県	250	2.6%	138 / 250	55.2%	60 / 250	24.0%
	愛知県	642	6.6%	366 / 642	57.0%	173 / 642	26.9%
	岐阜県	98	1.0%	38 / 98	38.8%	23 / 98	23.5%
	三重県	107	1.1%	41 / 107	38.3%	34 / 107	31.8%
	富山県	72	0.7%	24 / 72	33.3%	30 / 72	41.7%
	石川県	64	0.7%	19 / 64	29.7%	23 / 64	35.9%
	福井県	47	0.5%	23 / 47	48.9%	18 / 47	38.3%
近畿	滋賀県	112	1.2%	50 / 112	44.6%	24 / 112	21.4%
	京都府	203	2.1%	101 / 203	49.8%	53 / 203	26.1%
	大阪府	704	7.3%	392 / 704	55.7%	190 / 704	27.0%
	兵庫県	380	3.9%	176 / 380	46.3%	91 / 380	23.9%
	奈良県	125	1.3%	70 / 125	56.0%	42 / 125	33.6%
	和歌山県	56	0.6%	26 / 56	46.4%	16 / 56	28.6%
中国四国	鳥取県	50	0.5%	36 / 50	72.0%	9 / 50	18.0%
	島根県	58	0.6%	24 / 58	41.4%	19 / 58	32.8%
	岡山県	224	2.3%	124 / 224	55.4%	64 / 224	28.6%
	広島県	189	2.0%	90 / 189	47.6%	38 / 189	20.1%
	山口県	78	0.8%	33 / 78	42.3%	25 / 78	32.1%
	徳島県	27	0.3%	6 / 27	22.2%	17 / 27	63.0%
	香川県	90	0.9%	21 / 90	23.3%	51 / 90	56.7%
	高知県	20	0.2%	5 / 20	25.0%	7 / 20	35.0%
	愛媛県	152	1.6%	27 / 152	17.8%	90 / 152	59.2%
九州・沖縄	福岡県	389	4.0%	125 / 389	32.1%	170 / 389	43.7%
	佐賀県	37	0.4%	9 / 37	24.3%	13 / 37	35.1%
	長崎県	62	0.6%	30 / 62	48.4%	21 / 62	33.9%
	熊本県	197	2.0%	106 / 197	53.8%	64 / 197	32.5%
	大分県	70	0.7%	38 / 70	54.3%	19 / 70	27.1%
	宮崎県	20	0.2%	10 / 20	50.0%	8 / 20	40.0%
	鹿児島県	171	1.8%	78 / 171	45.6%	61 / 171	35.7%
	沖縄県	98	1.0%	50 / 98	51.0%	13 / 98	13.3%

中四国臨床工学技士会 2022 年度第 2 回学術委員会

議 事 録

日 時：2022 年 09 月 27 日（火）20:00-21:00

場 所：Zoom ミーティング

出席者；※敬称略

鳥取県：藤原 弘昌	島根県：藤松 祐輔	岡山県：堀 純也
広島県：栗原 大典	山口県：安本 圭亮	香川県：東山 智香子
愛媛県：山田 文哉	徳島県：川久保 芳文	高知県：仙頭 正人

オブザーバー

鳥取県：萩原 隆之	島根県：日野 厚志	香川県：村上 成重
-----------	-----------	-----------

欠席者；※敬称略

資料

第 12 回中四国臨床工学会 BPA 審査依頼.PDF（以前に送付したものと同一ものです）

1、通信状況の確認

会議に先立って、参加者の音声、画像等の通信状態が良好で問題なく意思疎通ができることを確認し議題の審議に入った。

2、委員長・副院長・書記の選出

中四国臨床工学連絡協議会 学術委員会規則 第 9 条及び 10 条に基づき、下記のとおり委員長・副委員長・書記が選出された。

委員長：堀 純也（岡山県）、副委員長：東山 智香子（香川県）、書記：藤原 弘昌（鳥取県）

3、議案

(1) 次年度(2023 年度)の委員会体制について

鳥取県： <u>萩原 隆之</u>	島根県： <u>日野 厚志</u>	岡山県：堀 純也
広島県：栗原 大典	山口県：安本 圭亮	香川県： <u>村上 成重</u>
愛媛県：山田 文哉	徳島県： <u>福原 正史</u>	
高知県：仙頭 正人		

委員長：萩原 隆之（鳥取県）、副委員長：堀 純也（岡山県）、書記：山田 文哉（愛媛県）

(2) 第 12 回中四国臨床工学会 BPA セッションについて（資料）

第1会場：一般演題6演題

座長：小野 淳一，藤原 弘昌

第3会場：学生演題6演題

座長：萩原 隆之，堀 純也

仙頭様にご自身の発表と時間が被ってしまっているため，4人目の審査が終わった時点で
ご自身の口演セッションへ移動。5人目，6人目は会場で録画したものを視聴してもらうこと
で対応。

審査結果は，LINE および会場掲示板で初日の夕方には報告

当日は，審査員が過半数揃っていればそのまま審査を実施する。

- ・一部ポスターセッションの座長が難しい可能性⇒岡山県側で調整・対応する

- ・翌日、功労者表彰と併せて BPA 表彰の予定

- ・BPA 審査依頼書は学術員より各県会長へ転送をお願いする

- ・研究と報告の区分など、学術委員で研究内容の基準を明確にする必要がある

毎年同様の演題・研究内容のものがある。報告に関しては BPA 対象外とする方向で検討

審査の点数を集計するだけでなく，審査情報共有をし，内容を精査した上で BPA の候補者を選
出するようにした方がよい。

(3) 第12回中四国臨床工学会 学術委員会枠について

第3会場 9:00-10:00

中四国臨床工学会 BPA 受賞者が語る研究のノウハウ

座長：堀 純也，藤原 弘昌

中四国臨床工学会 BPA 受賞者が語る研究のノウハウ

福原 真一

川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科 講師

BPA に輝くためのコツー臨床的疑問の粒を研究ー

福原 正史

公立学校共済組合 四国中央病院 医務局 臨床工学科

統括主任 透析センター 副センター長

研究発表への取り組みで重要なことは！？

宮本 照彦

医療法人 中央内科クリニック 診療技術部長

(4) COI 開示のガイドラインについて

今回の学会開催にあたって、共催セミナーの担当企業から COI 開示は不要で良いかという問合せがあった。基本的には開示をお願いしているが、中四国臨床工学会として、今後、開示条件等のガイドライン作成が必要であると考えられる。

(5) その他

川久保委員より、いずれは、中四国ブロックで論文誌が出せるような体制にもって行って欲しいという要望がだされた。また、中四国臨床工学技士会連絡協議会の学術委員も審査方法について学んでいく必要があるという意見も出された。

報告

第 12 回中四国臨床工学会参加申込状況

2022/09/26 20:00 時点

619 名（会員 478 名、非会員 89 名、学生 52 名）

会場参加予定者：498 名

中四国臨床工学技士会連絡協議会

中四国臨床工学会終了後、10 月下旬開催で検討中であることが報告された。

以上で、2022 年度第 2 回学術委員会を終了した。

2022 年度 第 2 回中四国臨床工学技士会連絡協議会 若手委員会

日時：2022 年 10 月 26 日（水曜）19:00 ～ 20:15

場所：Web 会議（Zoom ミーティング）

<出席者>

鳥取県：金崎 俊介	島根県：福島 成文	岡山県：佐々木 新
広島県：羽原 詠治	<u>山口県：鈴木 雄揮</u>	香川県：白川 憲之
愛媛県：小野 達也	徳島県：山下 翔	高知県：安岡 良訓
オブザーバー参加：	岡田 未奈（日本臨床工学技士会人材活性化委員会）	
	三島 千秋（島根県 後任）	

欠席：下線部

<司会>

佐々木 新（岡山県）

<書記>

金崎 俊介（鳥取県）

会議に先立って、通信状況が良好であり、出席者の映像および音声が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認し、審議に入った。

<議案>

- #1. 各県の活動状況の報告
- #2. 日本臨床工学技士会 人材活性化委員会
- #3. 2022 年（第 12 回）岡山大会 若手委員会企画
- #4. 2023 年（第 13 回）鳥取大会 予定
- #5. その他、報告、連絡

#1. 各県の活動状況の報告

鳥取県

・11 月 13 日（日）

初の鳥取県臨床工学技士会主催 Webinar（呼吸療法セミナー）を開催予定。

島根県

・10 月 22 日（土）にオンライン親睦会を開催。

参加者は 22 名。親睦会の途中でオンラインビンゴ大会を実施した。

参加者からはやはり対面での親睦会が良いという意見が多かった。

・10 月 29 日（土）～30 日（日）に出雲産業未来博 2022 が開催され、医療機器体験のブースを出展する。体験内容は下記を予定。

生体情報モニター（体験者の心電図を測定してもらう）

超音波診断装置（コーヒーゼリーの中に隠した物を探してもらう）

手術用内視鏡装置（腹腔内を模擬して映像を見ながらラパ用鉗子でお菓子を取ってもらう）

VR 体験（ドクターヘリのキャビン内を見ってもらう）

岡山県

- ・第2回 Web 病院見学会
会期：オンデマンド配信 5月1日～27日
施設・学生交流会 5月27日(19:00-21:00)
参加人数：オンデマンド配信 参加施設:15 申込人数:225
施設・学生交流会 参加施設:13 学生参加人数:20
オンデマンド配信の内容(ルール)：事前登録された方にメールにてパスワードと特設 HP の URL を配布後、特設 HP にて紹介動画を配信して視聴してもらった。
交流会のタイムテーブル：アイスブレイク(給与、プライベートについて)
各施設紹介
直接交流
- ・第2回岡山県施設対抗ウォーキング、マラソン大会
会期：2022年2月
参加人数：未定
開催概要：チーム戦(3人1組)で1ヶ月の総移動距離をチーム毎に競い合う。後日表彰式を開催し、チーム賞、個人賞、その他特別賞を用意し、景品としてQUOカードベイや、オンラインムービーチケット、サードワンアイスクリームチケットなどを配布した。
バスマーケットを用いて申し込みをしてもらい参加費は1人500円とした。

広島県

- ・9月3日 WebにてマネーセミナーVol.2を開催。
- ・11月26日 Web マネーセミナーVol.3を開催予定。
- ・Web 新年会企画も予定している。

山口県

- ・令和4年8月25日に福岡県との合同事業「若手 CE の知らない世界」を開催した。「oVice」を使用し、業務別にブースを作り、2部構成で行い、ディスカッション形式で日頃の業務に関する、疑問や思いを話した。
- ・その他に、県技士会の新年会を企画している。

徳島県

- ・2022年12月10日(土)
ニプロ社製輸液ポンプ・シリンジポンプの勉強会を対面方式にて開催予定。
ヘモダイアフィルターや透析装置など血液浄化部門の内容も盛り込み30名程度の参加を見込んでいる

香川県

- ・若手委員8名のメンバーを2グループに分け活動している。
勉強会グループ 5年以内の若手会員の業務上の悩みに答えていく企画を立案中
動画グループ 10分程度の CE 紹介動画の作成企画を進めている

愛媛県

・11月13日（日）

『CEのためのサステイナブルなキャリアデザイン』をテーマに、ノンテクニカルスキルに関するセミナーを実施予定。

高知県

・中学校の校内ハローワークにて CE の説明参加を予定している。

その他、各県から他県の質問

香川県 白川さんより

『PR 動画等作成の際、院内映像を使用する場合の趣意書や許可についてどのような対応をしているか』

愛媛県 岡田さん

『フリー素材のみの使用にとどめて対応している』

岡山県 佐々木さん

『職員は名札を外す、医療機器のメーカー名の映り込みを避ける等の対応を取っている。技士会からの趣意書などは無く個人レベルで責任者に許可を取っている』

島根県 福島さん

『出雲産業未来博 2022 へのブース出展用 VR 映像作成にあたり、手術室やドクターヘリを撮影した。技士会からの趣意書等は無く、各部門の責任者へ用途を説明し個別に許可を取った。』

岡山県 佐々木さんより

『コロナ禍における Web 開催から対面開催へ移行の方向性についてどのような見解か』

島根県 福島さん

『Web のみからハイブリッドへの移行を検討中』

徳島県 山下さん

『可能な限り対面への移行を進める。県外講師の招致は Zoom 等を活用』

岡山県 佐々木さんより

『これからの若手委員メンバーの人選、募集、依頼をどのように進めていくか』

愛媛県 小野さん

『4 名で活動している。人数が増えてもかえってまとまらないことにもつながる』

高知県 安岡さん

『6 名で活動している。全員 40 歳を超えており若手の発掘が課題』

香川県 白川さん

『8 名で活動している。最初は強制力を以て任命し、その後は権限を渡し任せることが大切。2 グループを競わせ成長させる。若手を主役にする企画を考案し与えることが委員長の責務である。』

愛媛県 小野さんより

『Zoom 会議はまだしも、メールや LINE で返信が遅い委員への対応はどうしているか』
香川県 白川さん

『レスポンスが悪い要因は理解力が低い場合とルーズな場合がある。前者には理解力を深めてもらえるようなアプローチを、後者には期限を設けるなどし、成功体験を与えてあげる事が得策ではないか』

愛媛県 小野さんより

『Web 主体で有料のセミナーでは参加者が見込めない。集客への工夫はあるか』

島根県 福島さん

『やはり Web 開催は対面より参加者が少ない印象。景品を出しても効果を感じない』

岡山県 佐々木さん

『ウォーキング企画は 81 名の参加があった。若手を通じて若手会員へ声かけをしてもらい一覧にして把握しゲーム感覚で参加者を広げてもらう。企画内容と広報方法の両方が大切』

香川県 白川さん

『技士会役員に養成校の職員がいるため学生への広報も行っている。一度のメールでは広報力としては非常に弱く、一ヶ月前・一週間前・前日等、最低でも 3 回は送信し告知する。加えて Web 開催の利点を活かし県外者も対象に取り込むことで群衆効果を利用し県内参加者も増やしていく。また、このような若手参加に関する課題を全国へ問題提起し、他エリアのノウハウを中四国エリアへフィードバックしていくことが重要』

以上のような回答・意見が交わされた。

#2. 日本臨床工学技士会 人材活性化委員会

○人材活性化事業

- ・ Y ボード憲章の改定
- ・ SHEEPRIN MAKE CLEAR 人材活性化委員会 Ver.の作成

○認知度向上事業

- ・ 第 9 回こころにじ〜ん！とくるいのちのエンジニアのはなし 募集要項作成中
- ・ 告示研修のポスターについて ポスターデザインは決定（タスクシフト／シェア）

○組織力向上事業

- ・ 技士会入会のすすめ 養成校向け入会促進動画を作成予定
- ・ AGM2022 年明けに開催予定
- ・ 第 3 回全国 Y ボード担当者会議 年度末に予定
- ・ 若手技士退会抑制 入会理由、当会事業に対する満足度、当会に期待する役割、今後の継続の意思などを調査し、結果をまとめ、分析するとともに当会の各委員会への情報共有を図る。組織強化職能委員会と共同

○広報事業

- ・ 人材活性化委員会 HP デザインの刷新について検討中

○日臨工委員会企画 第 33 回日本臨床工学会@広島

- ・ 企画提出済み 日臨工がこれまで取り組んできた活動を若手技士に知ってもらう
- ・ 演題募集 PR 動画 日臨工 YouTube にアップ済み

- ・日臨工参加促進 PR 動画 作成予定
カウントダウン動画に関して、開催地から遠い順に 2023 年 6 月 2 日より配信していく予定。中国四国地区は 7 月 14 日
参加を促進するような内容を 2 分程度で作成。
各地区で作成する 2023 年 5 月 19 日（金）まで
- ・活動ポスター掲示 例年通り実施予定

#3. 2022 年（第 12 回）岡山大会 若手委員会企画

委員会企画 1 Y-CUP 委員会

緊急記者会見！各県技士会の実態と Z 世代の本音

山口県、福島県、徳島県、愛媛県、岡山県の若手活動を報告。

その後、X・Y・Z 世代と世代を分けて各世代の悩みや思いをディスカッションした。

技士会活動の意義、技士会会議や親睦会に関する疑問、世代別のコミュニケーションの取り方について議論。学生を含め多くの参加を頂き盛況だった。

討論の様子を可視化するグラフィックレコーディングを用いた。

#4. 2023 年（第 13 回）鳥取大会 予定

10 月 28 日（土）29 日（日）米子コンベンションセンターにて開催

テーマ『臨床工学の SDGs 私たちができること』

PR 動画を YouTube 等で常時公開することを検討していく。

#5. その他、報告、連絡

なし

会議名称 第4回 中四国臨床工学技士会連絡協議会 事務局会

日 時 2022年10月17日(月) 19:00～19:36

開催形式 zoomによる開催

出席委員 宅江呂剛(島根県)、雑賀真也(鳥取県)、野村祐介(愛媛県)、兼長貴祐(広島県)、大野晶範(山口県)、斧 武志(高知県) 山本晃市(香川県)、割石大介(徳島県)、藤原千尋(岡山県)

会議進行、書記 藤原千尋

会議に先立って、出席者の音声・映像が即時に全ての出席者に伝わり適宜意思表示が適切に伝わる Web 会議環境であることを確認した。

(事務局会の方針)

各委員会が抱えている事務的な業務を提示していただき、対応していく

(報告事項)

・第12回中四国臨床工学会(岡山県)

会 期 2022年10月1日(土)・2日(日)、オンデマンド配信10月12日(水)～11月10日(火)

会 場 岡山コンベンションセンター

大会HP <https://www.oscel2.com/>

現在オンデマンド配信中であり10月26日(水)まで参加募集を実施している

会計報告については、春期協議会で報告予定

・第33回日本臨床工学会

テーマ:PeaCE for innovation ～peace:無事 安心への新たな展望～

会 期:2023年7月21日(金)、22日(土)、23日(日)

会 場:広島国際会議場

学会長:一般社団法人広島県臨床工学技士会 会長 高橋秀暢

(進捗状況)

1. 演題募集について

- ・10月3日(月)から一般演題の募集を開始
- ・各種 SNS で周知しているが、11月30日(水)締め切り
- ・皆様の技士会HPやSNSでも拡散をしていただきたい
- ・一般演題はデジタルポスター・BPA・一般口演
現地発表(デジタルポスター・BPA)、オンデマンド配信(一般口演)
- ・多くの方に現地発表していただけるようデジタルポスターの設置台数を調整・検討している

2. 学会スケジュールについて

- ・学会スケジュールはほぼ確定しつつある
- ・今後、最終調整を日本臨床工学技士会と行う予定

3. メーカ協賛に関して

- ・協賛に関しては現在、共催セミナーの獲得に力を入れている。
- ・日本臨床工学技士会の役員様方にもご協力依頼を行っておりますが、中四国連絡協議会の皆様方にもご協力依頼をする場合もあるかと存じます。その際には何卒よろしくお願い申し上げます

・規程、細則について

- ・中四国臨床工学技士会連絡協議会 運営規程(2022.4.30:最新)
- ・中四国臨床工学技士会連絡協議会 担当県(事務局会)細則(2022.4.30:最新)
- ・中四国臨床工学技士会連絡協議会 メーリングリスト運用規程(2022.4.30:最新)

以上3件の規程については、既に協議を終えたので報告する

(周知事項)

・連絡協議会ホームページ、メーリングリストについて

役員交代等に伴う登録依頼については、各県事務局より新規登録をお願いする

<https://chushi-ce.medikiki-hpl.com/pre-registration/>

運営規程より抜粋

第2章 構成

(登録)

第6条 第5条1項で定められた専任役員は、各県技士会より議長担当県臨床工学技士会事務局に名簿を提出することとする。

2. 初回提出された名簿をもって登録申込書とし、本会会議で承認されたものとする。

3. 各県役員改選等の理由により専任役員の変更及び追加がある場合は、各県技士会より議長担当県臨床工学技士会事務局に再度専任役員の名簿を提出しなければならない。

(検討事項)

・業務実態調査について

業務実態調査(10月)が開始されている

1. 岡山県下施設より、「調査内容の継続性があるのか(毎年調査内容が異なる)」「調査内容を事前に教えて欲しい」「調査量が多い」など聞く

回答として、「告示研修や業務範囲拡大などタスクシフト/シェアに係る内容が含まれている」として、他県はどうか

2. 中四学会会期中に調査が始まったこともあり、学会セッションにおいても周知がされたが、各県の周知状況はどうか

・新プリバドの登録更新状況が低い → 回答数への影響

・ブロック化を進めて、施設代表宛てに電話し対応

・プリバドのハガキを破棄したためログインできない → 日臨工へ個人が問い合わせ

・施設代表MLへ各施設より完了報告をいただく

(その他)

・災害状況発生への報告について情報共有【継続】

2020年7月14日(火) 13:20 付、日臨工 野村副理事のメールへの対応

各県で災害被害などが発生した場合は、ブロック担当 肥田常任理事、もしくは野村副理事へ連絡

・job tag (じょぶたぐ) : 職業情報提供サイト (日本版 O-NET) 【継続】

<https://shigoto.mhlw.go.jp/User/Occupation/Detail/164>

厚生労働省の統計情報が誤っている → 日臨工へ情報提供

野村副理事もしくは青木専務理事へ対応を検討いただく

・次年度担当 : 鳥取県

以上をもって、会議を終了した

2022 年度第 2 回中四国臨床工学技士会連絡協議会

日本臨床工学技士会 活動報告

1. 告示研修の状況 医療機関勤務者のうち 5751 名が受講終了（今年度目標の 1 万人に対して達成率 63%）
2. 告示研修受講に啓発活動を進めていく。
3. 診療報酬要望に関して、各関連学会との連携、厚労省訪問など計画中。連盟とも協働して行う。
4. 業務実態調査実施中 回収率 UP 施策を打っている（プリバドアクセスの促進含む）
5. 女性活躍推進 女性比率
第 7 期代議員（17 人/175 人：9.7%）委員会委員（62 人/279 人：22.5%）
いずれも 2022 年度の目標達成
6. 日臨工学会（広島）演題募集開始
7. 生涯教育関連 入会オリエンテーション・臨床工学技士基礎研修会のコンテンツ準備
8. 卒前教育関連 臨床工学技士教育研究会（参加費無料で開催）
実習指導者講習会 来年年明けから開催（各実習施設 1 名ずつ優先で）
9. 新プリバドに関して
10. 論文作成に関する支援など積極的に行っている。

令和 4 年〇月吉日

〇〇技士会会員各位

日本臨床工学技士連盟広報誌「みらい」の購読について（お願い）

拝啓 平素より〇〇技士会の活動にご理解とご協力誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大の対応に加え、臨床工学技士法改正に伴う厚生労働大臣指定の告示研修への対応などお忙しい日々をお過ごしのこととお察しいたします。

さて、前述の働き方改革に伴う医師のタスクフとシェアに伴う業務拡大や診療報酬における臨床工学技士の評価などについて、昨今の日本臨床工学技士連盟の活動が力になっていることはご承知のことと存じます。臨床工学技士の職域を維持するためには、日進月歩で進化する医療技術や社会的な環境の変化に対応するため、職能団体として行政や立法に協調して働きかける必要があります、そのためには会員一人一人のご支援とご協力を欠かすことはできません。

しかし、残念ながら連盟入会率は〇〇臨床工学技士会会員の僅か〇割にも満たない状態が続いています。連盟活動の成果で恩恵を受けるのはすべての臨床工学技士ですので、このアンバランスの状態をなんとか改善したいと考えています。

そのような背景より、〇〇臨床工学技士会としても、会員皆で日本臨床工学技士連盟を支援していくことを目標とし、会員の皆様へ連盟の発行する広報誌「みらい」の購読をお願いしたいと考えております。連盟への支援の輪が広がるほど、個人の負担が軽減されるような内容となっており、県の購読率 80%以上で、購読料が年間一人あたり 500 円となります。現在すでに 3000 円の支援をされている連盟会員の方々も、同様に購読料 500 円となります。「みらい」を購読することによって、会員の皆様の連絡先など個人情報に連盟に提供することになり、連盟や連盟の支援する国政選挙等の候補者から、お願いやご案内などの通知が届くことがあります、それ以外に会員の皆様へご負担をおかけすることはありません。

つきましては、この提案に対し会員の皆様へご賛同をいただきたくお願いを差し上げる次第です。連盟は全員の参加を希望していますので、当会としても全員のご賛同をお願いしたいところではございますが、政治信条については個人の意思が最大限尊重されますので、あくまでお願いベースのご相談であり、個々の会員の意思や思想を侵害するものではありません。この趣旨を踏まえたうえで、どうしても賛同が困難な方がいらっしゃいましたら、お手数ですが事務局までご一報いただけますと幸いです。

現在、全国 47 都道府県にて同じ運動（「みらい」購読運動）を展開しており、〇〇臨床工学技士会としても、これに沿う形で会員の皆様のご承諾を取りまとめています。連盟への締日が毎年末であることから、このお願いの締切日を令和 4 年 1 1 月 3 0 日とさせていただきます。誠に勝手ながら締切日までにご連絡が頂けなかった場合は、みらいの購読をご承諾されたものとして対応させていただき、〇〇臨床工学技士会会費引落と同時に購読料 500 円の引落を来年度から行なってまいります。

皆様一人一人の協力で、大きな支援の輪となりますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

連盟広報誌「みらい」
購読のお願い

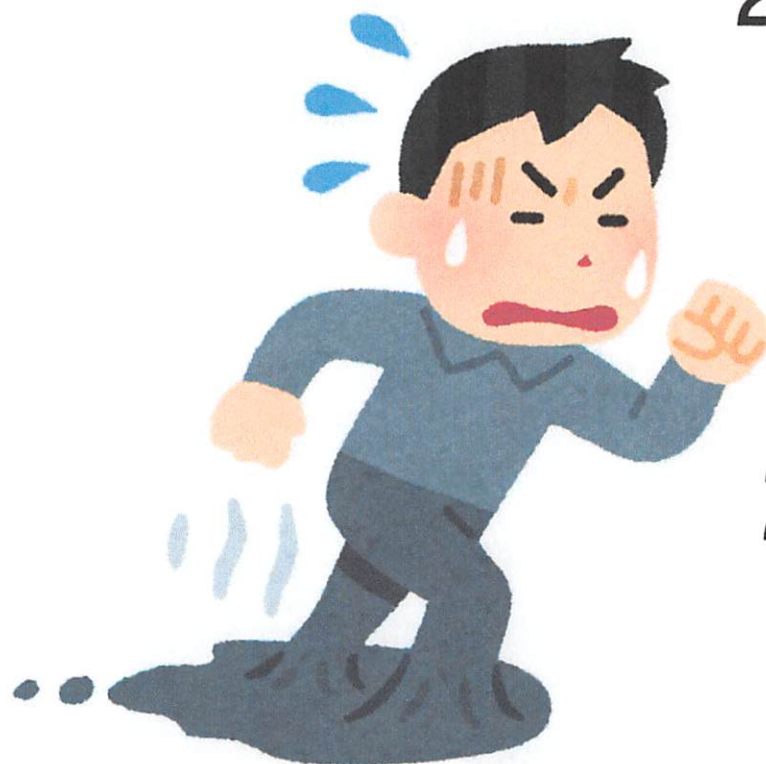
創設来、連盟会員の推移

	入会者数	退会者数	実質会員数	登録会員数	会費未納者数
2013	259	2	180	223	43
2014	326	22	380	468	88
2015	442	21	520	770	250
2016	175	54	615	899	284
2017	292	31	927	1158	231
2018	350	29	1051	1476	425
2019	350	42	1496	1803	307
2020	145	40	1563	1933	370
2021	200	34	1745	2119	374

2013年

2022年末現在

市町村	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	件数
北海道	1	2	21	1	2	5	55	2	4	99
青森県	0	0	1	2	0	2	0	1	0	6
岩手県	0	0	2	7	5	3	8	1	0	26
宮城県	0	1	2	2	9	8	5	4	12	43
秋田県	3	3	4	11	11	1	3	0	5	41
山形県	0	0	2	1	2	4	17	4	0	30
福島県	0	0	3	0	1	0	0	0	0	4
東京都	8	7	12	5	11	17	6	6	4	70
神奈川県	6	7	9	8	6	11	6	2	5	82
埼玉県	1	3	10	3	14	17	3	0	3	54
千葉県	7	6	6	2	1	3	3	10	25	63
茨城県	8	2	1	0	0	4	2	0	1	18
栃木県	1	0	0	2	2	1	3	6	0	15
群馬県	2	2	0	0	3	3	0	0	0	10
山梨県	2	0	3	2	0	0	0	0	0	7
新潟県	1	1	0	0	2	0	0	0	4	8
長野県	4	3	5	1	2	1	3	2	0	21
富山県	0	2	2	0	0	1	2	1	0	8
石川県	2	5	1	0	1	6	4	0	0	19
福井県	1	2	4	0	0	3	0	0	23	33
愛知県	2	31	17	3	3	16	27	11	12	122
岐阜県	1	1	3	3	1	3	2	0	2	16
静岡県	2	1	2	2	1	2	1	5	3	19
三重県	0	20	3	1	0	23	7	0	1	56
滋賀県	4	4	6	8	4	8	7	7	17	65
京都府	7	23	20	6	4	7	4	4	4	79
大阪府	1	3	3	3	0	0	1	0	3	14
奈良県	0	1	1	1	1	2	1	1	0	8
和歌山県	2	2	2	1	5	1	2	1	0	16
徳島県	0	1	3	0	0	0	0	2	1	7
高知県	2	1	2	7	26	10	17	3	0	62
愛媛県	2	9	6	4	9	5	13	4	1	53
福岡県	29	10	24	13	2	7	20	10	4	119
佐賀県	4	15	12	3	18	2	6	9	2	71
長門県	21	15	13	6	5	27	3	1	2	93
大分県	2	6	0	3	1	1	0	1	0	8
熊本県	2	17	0	1	2	8	17	1	1	49
宮崎県	15	4	16	3	4	20	34	1	0	97
鹿児島県	1	3	0	0	0	0	6	0	3	13
沖縄県	52	7	33	12	10	5	11	4	5	139
北海道	1	0	1	0	8	11	1	0	0	22
青森県	5	2	13	27	19	14	7	5	6	73
岩手県	6	8	9	11	7	9	6	5	2	54
宮城県	2	4	6	0	9	14	3	3	2	43
秋田県	1	0	2	0	2	15	1	0	0	22
山形県	3	15	12	1	41	16	3	6	18	116
福島県	0	0	1	1	1	7	4	0	1	15
東京都	1	2	2	2	2	1	2	5	10	27
合計	223	245	300	128	257	318	326	129	185	2115



2115/21584

9.8%

1割の善意で支える現状

増えない理由？

- 連盟の存在を知らない。
- 必要性を感じない。
- 会費が高い。
- 手続きが面倒くさい。
- 政治に関わりたくない。
- 面倒なことに巻き込まれそう。
- 公務員だから関われない。



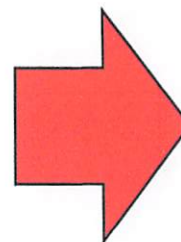
みんな
一緒に！



みんなで「みらい」を購読しよう！



~~会費~~



CEの未来を創る。すべての人の笑顔を創る。

みらい

2022年
夏季号

日本臨床工学技士連盟広報誌

購読

(支援金・協力金)



連盟支援 ワンコインプラン

条件を満たせば
会員ひとりあたり

500円/年



みんなで支援するほど購読料下がります！

～連盟会員/技士会会員の割合(都道府県単位)～

協賛金/年(円)

3500

3000

2500

2000

1500

1000

500

0

10%

20%

30%

40%

50%

60%

70%

80%

90%

100%

入会率(%)

3000

2000

2000

2000

1000

1000

1000

1000

500

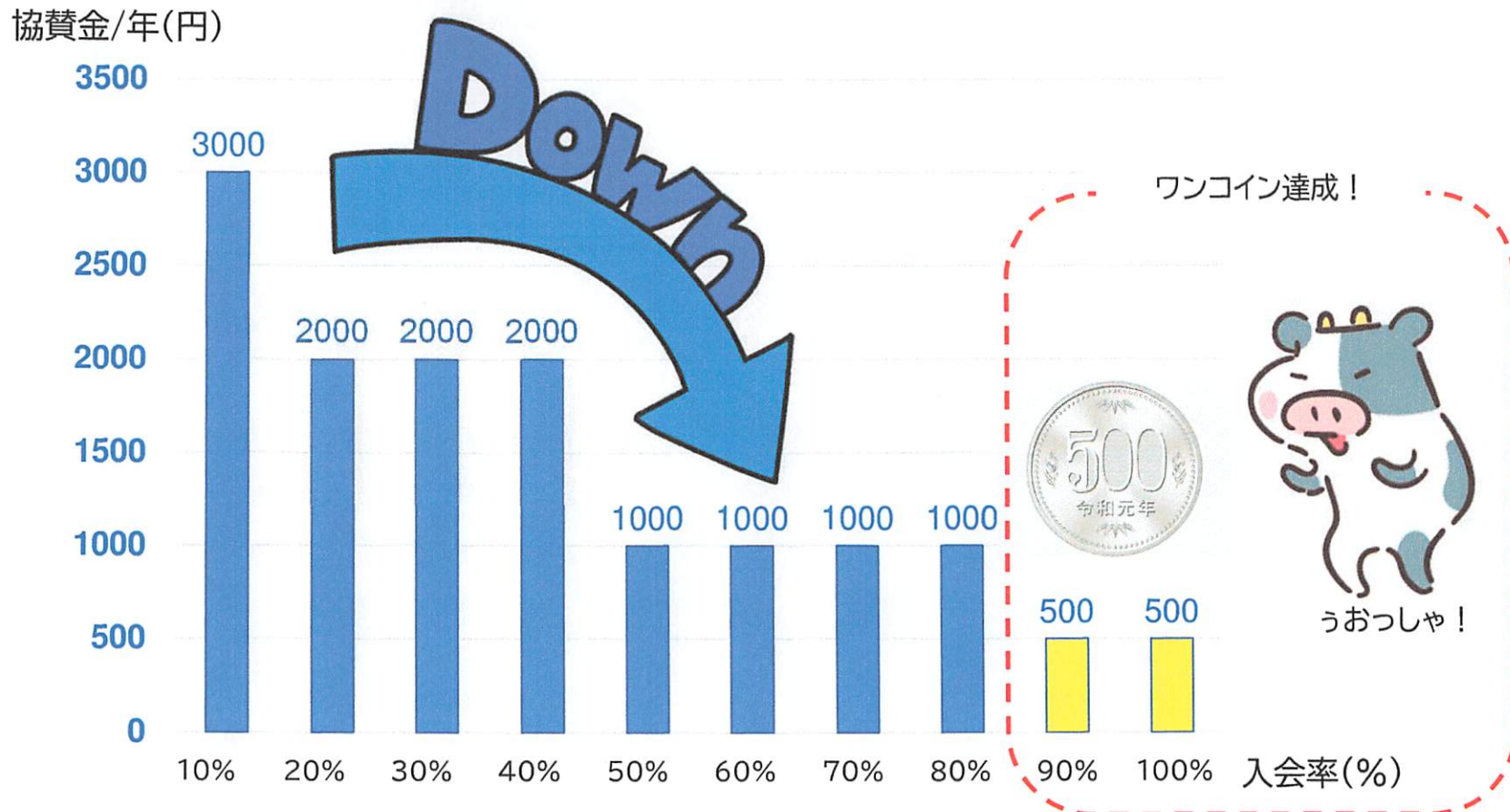
500

Down

ワンコイン達成！



うおっしゃ！





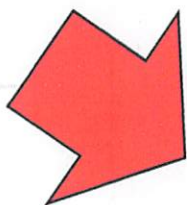
基本理念

CEの未来を創る。すべての人の笑顔を創る。

1割の善意で
支える現状

活動理念

「ひとり」では無理でも、「みんな」なら出来る。



みんなで
支援！



強い臨床工学技士をみんなで創るためのアイデアです。



何卒ご理解賜りますよう宜しくお願いします。

臨床工学のSDGs

～わたしたちができること～

2023年

10月28日土・29日日

米子コンベンションセンターBiG SHiP

〒683-0043 鳥取県米子市末広町294

TEL: 0859-35-8111

主催

一般社団法人 鳥取県臨床工学技士会

大会長

藤原 弘昌

一般社団法人 鳥取県臨床工学技士会 会長
鳥取市立病院 臨床工学部

第13回

中四国臨床工学会



Peace for Innovation
～ peace : 無事 安心への新たな展望～

演題募集期間
2022年10月 3日 (月) 正午～
2022年11月30日 (水) 正午

<https://www.kwcs.jp/jace33/>

第33回 日本臨床工学会
2023. 7/21 FRI - 23 SUN
会場 広島国際会議場

主 公益社団法人 日本臨床工学技士会
催 一般社団法人 広島県臨床工学技士会

学会長 高橋 秀暢 (広島国際大学)
副学会長 井上 堅司 (福山市民病院)
実行委員長 松田 政二 (どい腎臓内科透析クリニック)

学会事務局 医療法人社団 仁友会 尾道クリニック 兼長 貴祐 〒722-0014 広島県尾道市新浜2丁目10-12 TEL: 0848-25-3077

運営事務局 株式会社キョードープラス 〒701-0205 岡山県南区城尾2346-1 TEL: 086-250-7681 FAX: 086-250-7682 E-mail: jace33@kwcs.jp